

令和元年度 第79回全日本ウエイトリフティング選手権大会 第33回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会

いと か ず か な こ
糸数 加奈子

初優勝

女子 49kg 級

自己ベスト更新で見事に勝利した糸数2曹

体育学校は男女あわせて 2階級制覇

5月24日から26日の間、岩手県奥州市江刺中央体育館で行われた令和元年度第79回全日本ウエイトリフティング選手権大会（女子は第33回）に体育学校ウエイトリフティング班から白石2尉以下11名の選手が参加し、男女あわせて2つの階級で優勝の成果を収めた。

昨年、IOC（国際オリンピック委員会）が東京五輪での階級区分をすべて変更したことに伴い、今大会から新たな階級区分で争われる事となり東京五輪を目前にした選手たちにとっては、重要な試合となった。

うれしい自己ベスト 女子 49kg 級糸数2曹

女子 49kg 級に出場した糸数2曹は、スナッチ1本目の76kgを挙げると、2本目で自己ベスト更新となる78kgに挑戦。これを成功させると、続く3本目では更に自己ベストを更新する80kgを見事に成功し、喜びの笑顔を見せた。スナッチを1位で折り返すと、続くクリーン&ジャークでは93kgを挙げトータル173kgで自身初となる優勝に輝いた。

試合後糸数は、「優勝できて嬉しい。今日はシャフトを握った時に調子が良いと感じていた。兄（糸数陽一選手：警視庁）から技術やメンタルなど学ぶことは多い。今日の優勝も自分の事のように喜んでくれた。」と笑顔を見せた。「スナッチは2本目から自己ベスト更新。3本目の挑戦は自分でも挙がるか不安だったが、挙がってホッとしている。自己ベストが更新できて良かった。クリーン&ジャークは1本目を失敗してしまい、2本目、3本目でやりたいことができず残念だったが、トータルも自己ベストを5kg更新できたことは嬉しい。」と、今大会を振り返った。

男子は高尾2尉が3年連続の優勝

67kg 級 (2019年)
62kg 級 (2018年)
56kg 級 (2017年)

男子 67kg 級に出場した高尾2尉はスナッチで125kg、128kg、130kgとノーミスで試技を成功させ、前半を折り返すと、後半のクリーン&ジャークでは1回目の160kgを失敗、2回目で160kgの試技を成功し、この時点で優勝を確定させた。3回目の163kgを失敗で終えるも、トータル290kgで2位に24kgの差をつけての優勝となった。

試合後高尾は、「世界大会派遣基準を突破できたことは嬉しいが、記録としてはまだまだ。もっと上を目指して頑張っていきたい。これからは、失敗せずに6本ノーミスで終われるようにしたい。」と、嬉しいながらも悔しさをにじませた。



3年連続3つの階級で優勝の高尾2尉

Record

総 合 成 績

階 級	氏 名	種 別	記 録	順 位	出 身	階 級	氏 名	種 別	記 録	順 位	出 身
2等陸尉	白石宏明	109kg 級	S174kg J212kg T386kg	2 位	(福岡県)	3等陸尉	本木和真	61kg 級	S115kg J140kg T255kg	4 位	(兵庫県)
2等陸尉	高尾宏明	67kg 級	S130kg J160kg T290kg	優 勝	(宮崎県)	3等陸曹	玉寄公博	55kg 級	S107kg J115kg T222kg	3 位	(沖縄県)
3等陸尉	熊川雄太	81kg 級	S147kg J162kg T309kg	4 位	(福島県)	陸 士 長	熊ヶ谷翔太	89kg 級	S140kg J171kg T311kg	3 位	(東京都)
3等陸尉	田中太郎	109kg 級	S 0kg J棄権 T 0kg	—	(岡山県)	陸 士 長	請舩泰俊	96kg 級	S139kg J164kg T303kg	5 位	(沖縄県)

S：スナッチ バーベルを1回の動作で頭上まで持ち上げる競技

J：クリーン&ジャーク バーベルを1回目の動作で肩（クリーン）の位置に上げ、2回目の動作で一気に頭上に持ち上げる

女 子

3等陸尉 吉田朱音 64kg 級 S 94kg J117kg T211kg 2 位 (兵庫県)
2等陸曹 糸数加奈子 49kg 級 S 80kg J 93kg T173kg 優 勝 (沖縄県)

※ 2等陸曹 押田真 怪我のため棄権

PHOTO GALLERY

各階級の写真をアップ!

自衛隊体育学校フォトギャラリー

選手たちの活躍を自衛隊体育学校ホームページでご覧ください。
フォトギャラリーに写真を掲載しています。 http://www.mod.go.jp/gsd/phy_s/index.html

自衛隊体育学校

検 索

